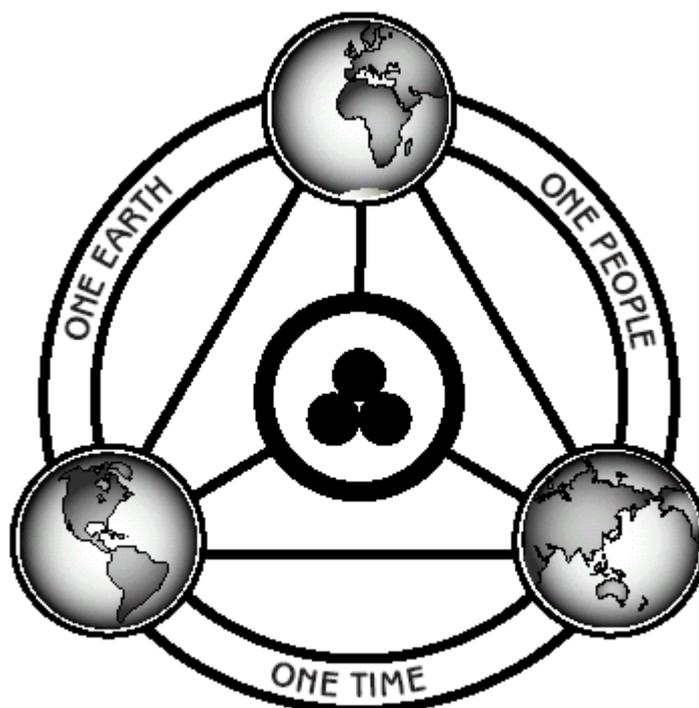


7 : 7 : 7 : 7

「13の月の暦」の時間魔術の実践
(28日間の放射状母体プレイング・ボードで遊ぶ)



©2002 時間の法則財団

Japanese translation ©2002 Y.Ryuu

Copyright arranged with ©Luckan & Co.

問合せ先：

Foundation for the Law of Time (時間の法則財団)

PO Box 513

Brightwood, Oregon 97011

www.tortuga.com

foundation@tortuga.com

7 : 7 : 7 : 7 「13の月の暦」の時間魔術の実践 (28日間の放射状母体プレイング・ボードで遊ぶ)

あなたの「13の月の暦」は、魔法のプレイング・ボードだ。その鍵は、新しい曜日の名前。その新しい名前はどれも放射状プラズマを表している。放射状プラズマとは、テレパシーを結びつける特性を備えた電氣的にチャージされた粒子のことである。

すべてのプラズマには、特定の封印と、4色：赤、白、青、黄のどれかが対応している。



7つのプラズマでできる7日間で一週間になる。
ひと月は4週間、28日だから、28枚のプラズマカードがある。

それぞれの週にも一つの色が対応する。

赤：第一週
白：第二週
青：第三週
黄：第四週

4つのチャージとは：類似、反対、神秘、統一場のチャージ。
類似は協力を意味する。
反対は挑戦を意味する。
神秘は隠れた力を意味する。
統一場はすべてが集まることを意味する。

赤と白、青と黄色は類似の色の関係
赤と青、黄色と白は反対の色の関係
赤と黄色、青と白は神秘の色の関係
プラズマは電氣的にチャージされた粒子であるため、その週の色に従ってそのチャージを変化させる。

赤い類似の週：

1,3,5,7日は類似のチャージ、2,4,6日は神秘のチャージ。
類似の週の類似のチャージは2倍の陽性。
類似の週の神秘のチャージは隠れた財宝。

白い反対の週：

8-14日、すべて反対のチャージ。
黄色と白のプラズマの反対のチャージ、第1,3,5,7日目は2倍の挑戦。赤と青のプラズマの反対のチャージ、第2,4,6日目は修正された挑戦。

青い神秘の週：

15-21日、第1,3,5,7日目は神秘のチャージのプラズマ。第2,4,6日目は類似のプラズマ。
神秘の週の神秘のチャージは、あなたの隠れた力を見出す。
神秘の週の類似のチャージは、あなたの隠れた財宝を明らかにする。

黄色い統一場の週：

22-28日、すべて統一場のチャージ。第1,3,5,7日目のプラズマは、統一の力。第2,4,6日目は、結束の力。

特定の日のプラズマの色は一定で、特定の週の色も一定である。

赤い週：赤い日の2日と6日が強調される。

白い週：10日と14日が強調される。

青い週：18日が強調される。

黄色い週：22日と26日が強調される。

それぞれの日を260キンのうちの一つがコード化する。それぞれのキンにも四色のうちの一つが対応しており、毎年、ある週のキンの色の並びは、日付ごとに一定の色と完全に一致する。

黄色い種の年：第一週

赤い月の年：第二週

白い魔法使いの年：第三週

青い嵐の年：第四週

すべての年の上記以外の週の日には、週の色によって変わるプラズマとキンとの関係、類似・反対・神秘・統一場を見つけ、一つのプラズマと一つのキンによる新しいチャージという、新たな時間の向上した質を感じよう。

7:7:7:7 - 28枚の実践的な時間魔術プラズマカードの説明と使い方

7つの放射状プラズマは、毎年、毎月、毎週、毎日の新しいリアリティを創造するためにある。それは「13の月/28日周期の暦」に従うことによってのみ可能となるものである。この暦は実際には、完全に調和的な観点における自分自身の愛と光へとあなたが集中するのを助けるツールである。「13の月/28日間」の実践的な時間魔術のプラズマカードで遊ぶことは、新たなリアリティを創造するためにあなたの愛と光へと焦点を合わせることでできる、まさに最高の方法なのだ。

あなたの手元にある「13の月の暦」を完全な調和のホログラムだと考えよう。実際にそうなのだが。あなたは、テレパシーが意思疎通のため、また、愛と調和が唯一の観念である新たなリアリティを精神的に確立するために最も効果的な方法である新しい世界を造り出すという、あなたの意図に集中するよう、このホログラムの使い方を学び始めようとしているところなのだ。

毎週の最初の3つのプラズマは、一つの感覚量子を創り出す。感覚量子は、あなたのイマジネーションに何かしらリアルなものを作る建築ブロックである。毎週の4番目のプラズマは、最初の3つと最後の3つのプラズマを時間原子へと触媒するためのものである。テレパシー時間原子は、あなたの時間旅行の乗り物を創造するためのイメージの構成物である。テレパシーは光の速度よりも速いことを覚えていよう。

毎週の最後の3つのプラズマは、一つのテレパシー量子を創り出す。触媒的なプラズマによって一つの感覚量子と結合された一つのテレパシー量子は、テレパシー時間原子となる。一つの感覚と一つのテレパシー的思考から一つの時間原子ができるのだ。

ひと月の28日間に4つの時間原子が地球の中心のマスター時間分子に蓄えられる。

毎月この時間分子を作ること、それはあなたの時間旅行クレジットを蓄える、テレパシー儉約銀行のような機能を発揮する。あなたの準備ができたときには、地球の中心の時間分子へと行き、あなたのテレパシー時間旅行クレジットを引き出し、時間旅行の乗り物を用意するために使うのだ。だが、まずは28枚のプラズマカードを使った遊び方を学ばなければならない。それは一日に1枚、週に7枚、ひと月に28枚ある。その遊び方はいく通りもある。それぞれのカードが、多くのレベルの情報が既に盛り込まれた記憶装置になっているのはそのためである。

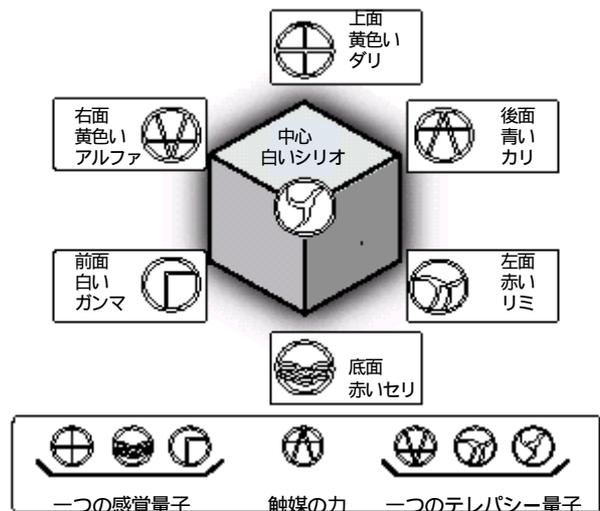
一日に1枚のカードを読む。一週間で7つのプラズマを構築する。(訳注：ひと月で)それぞれのプラズマの4つのタイプを構築する。2倍のチャージを創造し、それに従う。4通りのあなたの光の身体の7つのチャクラに精通する。あなたのチャクラの中に惑星を見つける。あなたの光の身体を地球の中心へと送り出す。あなたの惑星を癒す。あなたの惑星の虹の身体の創造を手助けする。4つの塔から天王星・地球の中心へと時間旅行する。銀河のマヤ人になる。平和と愛と調和の状態を閉じることを学ぶ。

毎日、その日のプラズマカードを、放射状母体プレイング・ボードと28枚のカード記憶装置の情報ガイドとともにチェックする。理解を深めるためにインデックスを使う。それによって、あなたは、7:7:7:7の時間旅行の飛行訓練プログラムに参加する。それは、あなたが考えうるよりも遠くへとあなたを連れて行ってくれるものだ。それは光の速度よりも速いことをイメージしよう。

7:7::7:7 ~ 28枚のプラズマ・プレイング・カード~

日々の立方体コードに対応するカードを読むための情報一覧

週の6日目までで立方体の6つの面をつくる。
7日目は立方体の魔術的な中心になる。6つの放射状プラズマは、立方体の6つの面のうちの1つをコード化する。あなたは一日に立方体の一つの面ずつ組み立てていく。そして、7日目には立方体の内部へと向かい、あなたのハート・センターに7番目の封印を置く。ひと月に4回、放射状プラズマの立方体になりなさい。立方体は創造の完全な形態であることを覚えていよう。あなた自身をプラズマの立方体の内部に置くことは、あなたという形態や存在を完全なものとする助けとなる。



立方体の面による対応：

上面の黄色いダリ + 底面の赤いセリ + 前面の白いガンマ = 一つの感覚量子の完成

後面の青いカリ = 触媒的な力

右面の黄色いアルファ + 左面の赤いリミ + 中心の白いシリオ = 一つのテレパシー量子の完成

ひと月には4つの立方体がある：

- 赤い類似の立方体、第1週
- 白い反対の立方体、第2週
- 青い神秘の立方体、第3週
- 黄色い統一場の立方体、第4週

一つの立方体は、一つの内的に結びつけられた感覚量子とテレパシー量子に等しい。一つの時間原子をつくるのに必要なのもこれだけである。一つの時間原子は、地球が時間を活性化し蓄える方法である。あなたがひと月に異なった4つのタイプの感覚量子とテレパシー量子を創造するとき、あなたは実際に地球の心的領域あるいは精神圏の一細胞として機能している。毎月、毎週、何千人もの人々が精神圏的な量子を活性化していることをイメージしよう。そのようにして地球の心的領域は意識の中に目覚めるのだ。

時間原子とマスター時間分子

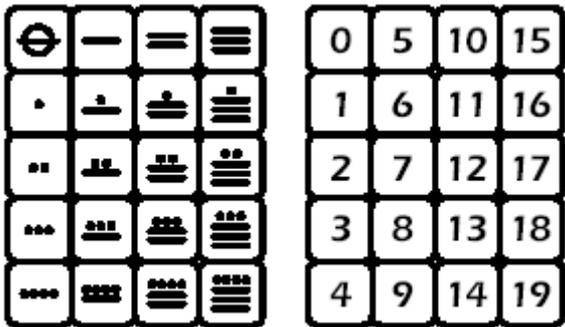
7, 14, 21, 28日のカードの裏面をチェックすると、テレパシー時間の逆三角形の中心に時間原子がある。どの時間原子にも7つの放射状プラズマに対応する7つのポイントがあることが分かる。各週の第7日目に、あなた自身をプラズマの立方体の内部に置きおえたら、次に対応する時間原子を、あなたの中を通り立方体の天地、左右をつなぐエーテル的な構造物として視覚化する。その視覚化ができたなら、その時間原子を地球の中心へと送り出す。

あなたが地球の中心へと送り出したそれぞれの時間原子は、あなたの時間クレジット記憶装置である。地球の中心で、それらは毎月一つのマスター時間分子を形作る。あなたが将来のふさわしい瞬間に地球の中心へと行き、いまやあなたの時間旅行の乗り物のエンジン作りに十分なほどマスター時間原子へと集められた時間クレジットを引き出せるように、4つの時間原子の情報を統合するのがこのマスター時間原子である。しかし、そのためには、あなたは「時間の力学の260の基礎条件」と呼ばれる時間の法則のもっと高いレベルのコースをマスターしなければならない。

- 7日は、赤い類似の時間原子
- 14日は、白い反対の時間原子
- 21日は、青い神秘の時間原子
- 28日は、黄色い統一場の時間原子

28日に、統一場の時間原子を地球の中心へと送り出したら、あなたはそれとともに行き、どのように時間分子が構築されるのを見ることができる。

北極軸上には赤い類似の時間原子があり、南極軸上には青い神秘の時間原子がある。そして、それらと直交して、互いに反対位置になった2つの蒸気船の外輪のように、白い反対と黄色い統一場の時間原子がある。赤と青の時間原子が地球の中心を通る極軸上の位置に留まるのに対して、白と黄色の時間原子は地球の重力の面（訳注：赤道面に一致）上を維持しながら動く。このようにマスター時間分子へと変形しながら、四次元の時間のプラズマは地球を安定させ、同時に普遍的な時間クレジット貯蓄銀行として機能している。現在はあなたの口座だけに貯蓄されているとしても、利子が生まれる。2005-06年、黄色い宇宙の種の年以降の時点で、引き出しに関する通知がなされるだろう。



ドット・バー・コード一覧

もしまだ学んでいなくても、ドット・バー・コードを覚えるのは簡単だ。ドット（点）は横並びに書かれる。点1つが1に等しく、点2つで2、点3つで3、点4つは4を表す。5は1本棒。10は棒2本。15は棒3本。そして、6は1本の棒の上に点1つ、7は1本棒の上に点2つのように表す。11は棒2本の上に点1つ、16は棒3本の上に点1つ、19は棒3本(15)の上に点4つ(4)で表す。20は、銀河のゼロのマークの上に点1つで表す。21は上に点1つ(=20)と下に点1つ(=1)、25は上に点1つと下に棒1本のように表す。

月の値一覧

ひと月の4週それぞれは、異なる「月の値」を持つ。「月の値」は、フラクタル時間圧縮の原理に基づくものである。

それ自身の上位あるいは下位の等価に対する比となる、あらゆる形態あるいは数字が、常に一定であるものをフラクタルという。新しい暦は、完全な7日間による、ちょうど4週間でひと月ができている。それは各週の7日間が7の力に基づく圧縮時間フラクタルでありうることを意味する。したがって、フラクタル時間圧縮では、週の7日間が単なる7日でもあり、7か月、7年、あるいは、20年周期による7カトウンでもありうる。それがまさに7:7::7:7での捉え方なのだ。

月の値とは、ある一日に何ヶ月が圧縮されているのかを示すものである。

7:7::7:7の神秘的な実践は、すべてマヤの預言と2012-13年の周期の終わりに関連する4つのフラクタル時間圧縮に基づいている。次に掲げるのが「13の月の暦」をコード化する4つのフラクタル時間圧縮の期間と関連する月の値である。

第1週：七世代の書の7カトウンの週

13の月の預言が確立する。

フラクタル時間圧縮の期間：AD692-830（長期計算法の日付では9.13.0.0.0-10.0.0.0.0）

歴史の大周期、BC3113-AD2012でのバクトウン9を締めくくる7カトウン

フラクタル時間圧縮比：1日 = 1カトウン（約20年 × 13か月） = 260か月
月の値：260

第2週：13の月の預言の時
フラクタル時間圧縮の期間：預言の7年、1993-2000年
フラクタル時間圧縮比：1日 = 1年 = 13か月
月の値：13

第3週：13の月の預言の成就の時
フラクタル時間圧縮の期間：石の神秘の7年、2004-2011年
フラクタル時間圧縮比：1日 = 1年 = 13か月
月の値：13

第4週：周期を閉じる
フラクタル時間圧縮の期間：2012年の預言の13バクトウン最後の7か月及び2013年の時間船地球の出航までの神秘の7か月
フラクタル時間圧縮比：1日 = 1つの2倍の月 = 2つの1か月
月の値：1、神秘の月の値：1

第4週のカードの裏には神秘の月の値が追加されている。フラクタル時間圧縮により、第4週のどの日も、周期を閉じる前のひと月と周期が完了した後のひと月に対応する。（放射子の値も参照）

月の値は、それ自身の値で次第に累積されることに留意しよう。第2日のカードを見ると、月の値は260ではなく、その倍の520だと分かるだろう。そして第7日のカードの月の値は1820つまり 260×7 になっている。ほかの週についても同様だ。第2週と第3週では累積される月の値は一日につき13か月であり、また第4週では一日につき、1か月 + 神秘の1か月だけ累積される。あなたは、それぞれのプラズマについて4つのバリエーションの月の値を学ばなければならないが、それによっていくつかの興味深い数字の魔術を見いだすことになるだろう。

月の値は何に役立つのかと尋ねるかもしれない。週を通じて増加する月の値は、あなたの時間旅行クレジットである。そのクレジットは、地球の中心に蓄えられる4つの週ごとの時間原子に搭載される。4週間ごとに2016の月の値の時間旅行クレジットが増えるが、それは 288×7 または 144×14 である。144は「光の調波」として知られるマジック・ナンバーである。144の2倍の288は北極と南極の両極の光に関連する。これが意味することは、あなたのひと月の時間旅行クレジットが光の調波の両極の脈動7つ分に等しいということである。あなたの準備が整ったときに、時間旅行の乗り物を推進させるのに必要なのがこの脈動である。（放射子の値を参照）

コード・キン

各週は、一つの「コード・キン」によってコード化されている。コード・キンは、それぞれのカードの表の右下隅に描かれている。例外として、神秘の月の値は第4週のカードの裏側の右下隅にある。コード・キンは、その週までに集積された月の値の数字に対応するキンによって決まる。（月の値一覧を参照）

第1週：月の値260、コード・キン = キン260、黄色い宇宙の太陽
（最大のキン番号、したがって第2週は260キン単位が一回りしたところから始まる。）
第2週：月の値13、コード・キン = キン13、赤い宇宙の空歩く者
第3週：月の値13 + 第2週の13 = 26、コード・キン = キン26、白い宇宙の世界の橋渡し
第4週：月の値1 + 第3週までに集積された26 = 27、コード・キン = キン27、青い磁気の手、**第4週**：神秘の月の値1 + 第4週までに集積された27 = 28、コード・キン = キン28、黄色い月の星

惑星のインデックス

それぞれのカードは、プラズマとその色が中心にある特定の色の六角形としてカードの表に描かれた一つの惑星によってコード化されている。惑星とプラズマの封印との色の関係がそのカードのプラズマのチャージを決定する。(カラー・コードを参照)惑星は、G K (太陽に向かう銀河のカルマ的なエネルギーの流れ)またはS P (太陽からの太陽の預言的な流れ)のいずれかの表記を伴っている。失われた惑星であるマルデク、現在の小惑星帯を含めて太陽系には10の惑星がある。どの惑星にも2つの色が対応している。一つは銀河のカルマ的な流れの側で、もう一つは太陽の預言的な流れの側である。毎月1日が銀河のカルマ的な地球であることを覚えておきなさい。なぜなら、そこがあなたのいる場所であり、28日間の旅が始まる場所なのだから。毎日、カードに従い、流れに従う。6日の太陽の預言的な地球を過ぎると、7日は銀河のカルマ的な海王星へと移動するので注意する。そして、7日から28日までは惑星の流れに従い、28日は銀河のカルマ的な天王星になる。(更なる情報は「塔のカード」を参照。)また、どの惑星に対する色のペアも類似の関係であることに注意する。

銀河のカルマ的な流れ

冥王星 - 黄色 26日、アルファ
海王星 - 赤 7日、27日、シリオ、リミ
天王星 - 白 8日、28日、ダリ、シリオ
土星 - 青 9日、セリ
木星 - 黄色 10日、ガンマ
マルデク - 赤 11日、カリ
火星 - 白 12日、アルファ
地球 - 青 1日、13日、ダリ、リミ
金星 - 黄色 2日、14日、セリ、シリオ
水星 - 赤 3日、15日、ガンマ、ダリ

太陽の預言的な流れ

冥王星 - 青 25日、カリ
海王星 - 白 24日、ガンマ
天王星 - 赤 23日、セリ
土星 - 黄色 22日、ダリ
木星 - 青 21日、シリオ
マルデク - 白 20日、リミ
火星 - 赤 19日、アルファ
地球 - 黄色 6日、18日
金星 - 青 5日、17日、アルファ、ガンマ
水星 - 白 4日、16日、カリ、セリ

四つの惑星の印のところにあるアルファとオメガのマーク(冥王星に二つと水星に二つ)は、それぞれG KまたはS Pの流れの始まりと完了を示している。

プラズマのインデックス

プラズマには7つのタイプがある。だが、それぞれのタイプにはまた、類似・反対・神秘・統一場という4つのチャージがある。したがって、正確には7つの放射状プラズマによる28のバリエーションがある。プラズマ・タイプの2, 4, 6は、類似と神秘の週にチャージが入れ替わることに注意する。つまり、類似の週のプラズマ・タイプ2, 4, 6は、神秘のチャージであり、神秘の週のプラズマ・タイプ2, 4, 6は類似のチャージである。

最初の3つのプラズマ・タイプの色が原初と呼ばれ、一方、最後の3つのプラズマ・タイプ(5, 6, 7)の色が色彩と呼ばれることに注意する。最初の3つのプラズマ・タイプは感覚量子を構成するが、感覚量子は原初的なものである。そして、最後の3つのプラズマ・タイプは、色彩と呼ばれるテレパシー量子を構成する。感覚量子は原初的な体験を意味し、テレパシー量子は色彩的な体験、つまり飽和量の体験なのである。青は感覚的あるいはテレパシー的な機能を持たないため、触媒と言われる。

各プラズマ・タイプは、プラズマの潤滑的な特性をもつ放射子を生み出す。この放射子は、特定の性質と「行為」とによって特徴づけられる。熱と光は感覚放射子の特質である。また、テレパシー放射子は、この地球を高度に発展した事例とするような、原初の球体を定義づける亜原子的な特性によって特徴づけられる。こんなことを考えてみよう。この地球は、テレパシー的なある種の思考形態かもしれない。

プラズマ・タイプ

1. 原初の黄色いダリ
2. 原初の赤いセリ
3. 原初の白いガンマ

放射子の特性

- 熱の（熱が生み出される）
光の（光が生み出される）
光 - 熱の（光と熱が生み出される）

行為

- 目指す
流れる
鎮める

この時点で、外的刺激が干渉性の力で神経系に突き当たる（訳注：感覚を起こす）ことができるようになるため、「起こす力（ストライク・フォース）」とも呼ばれる。

4. 触媒的な青いカリ

光 - 熱 熱 - 光
（複合的な光が触媒する熱の相互作用）

確立する

5. 色彩の黄色いアルファ

二重拡張電子、南極

解き放つ

6. 色彩の赤いリミ

心的電子、北極

清める

7. 色彩の白いシリオ

心的電子中性子、地球の中心

放出する

プラズマの自己発生、14日～20日のカード

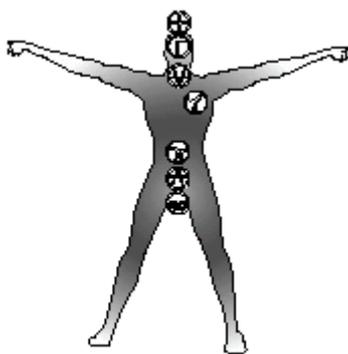
14日から20日までのデイリー・プラズマ・カードのプラズマの封印に隣り合う小さなプラズマの封印に気づくだろう。その小さな封印は、シリオ14日のカードでダリから始まり、リミ20日のカードの小さなシリオまで順に続くことを覚えていなさい。このことはプラズマが自己発生していることを示している。自己発生の過程は第7のプラズマであるシリオで始まり、それは14日に最初のプラズマであるダリを発生する。どうしてだろうか？それは、最初の14日間でそれらの逆の放射子（後記、参加可能なテレパシー時間科学を参照。）と組になって、14日目に28日間の放射状母体の原初の秩序を完了するからである。したがって、7つのプラズマの自己発生は、二重の7の力である14日に始まって、20日計算法が一番大きな値であるリミ20日まで続くのである。このように各プラズマは続くプラズマを発生する。最後のプラズマに続くのは最初のプラズマであるから、この過程はシリオで始まるのである。

14日に白いシリオは黄色いダリを発生する。反対の色の発生。15日に黄色いダリは赤いセリを発生する。神秘の色の発生。16日に赤いセリは白いガンマを発生する。類似の色の発生。17日に白いガンマは青いカリを発生する。神秘の色の発生。18日に青いカリは黄色いアルファを発生する。類似の色の発生。19日に黄色いアルファは赤いリミを発生する。神秘の色の発生。20日に赤いリミは白いシリオを発生する。類似の色の発生。

反対の色の発生は、唯一、白い反対の週の最終日14日にだけ起こる。自己発生の法則によれば、反対 - 逆 - だけが自己発生の過程を始めることができ、最初を発生させるのは最後のものでなければならない。これはまた7つのプラズマが第7の秩序の法則の下で働いていることを示している。第7の秩序の法則においては、最初のアルファは7番目のオメガと組になり、したがって中心を維持する独立的な第4の力としてのカリが確立する。ここに時間の法則の基礎的な比である4:7::7:13という前提が横たわっているのである。

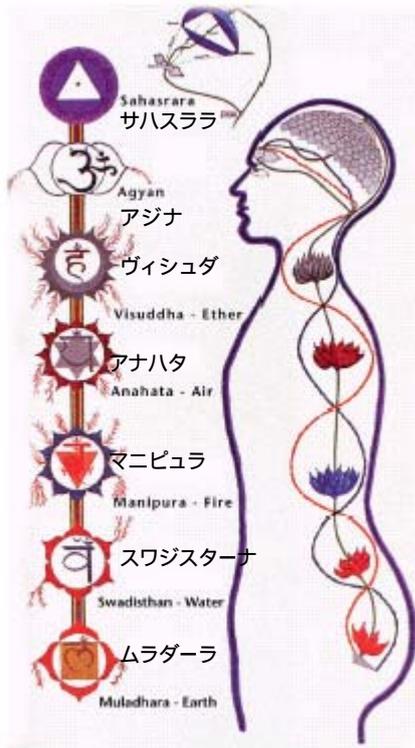
プラズマとチャクラとの対応

ちょうど7つのタイプのプラズマ（その性質を放射するので放射状プラズマと呼ばれる）があることで、伝統的な7つのチャクラが生じる。（5つの主要なチャクラと2つのやや秘儀的なチャクラ、第三の目とハラのチャクラである。）チャクラには身体の位置にしたがって伝統的なインドの名前が与えられており、そこに7つの放射状プラズマ・タイプが影響を及ぼしている。それぞれのチャクラは、それをコード化する特定のプラズマの記憶装置だと考えてみよう。プラズマはチャクラを放射状の動きで封印することに注意する。つまり、クラウンから始まって、ルートへ行き、今度は第三の目へと上がって、最終的に第7のプラズマ・タイプがある中心のハートに達するまでそれぞれのチャクラを移動していく。各チャクラは4つの異なるプラズマのチャージによって4度コード化されることを覚えているように。惑星のインデックスを調べ、どの惑星がどのチ



チャクラに対応するのを確認しよう。あなたは宇宙なのだ。

チャクラの名称	身体のセンター	放射状プラズマ・タイプ
サハスララ	クラウン（頭頂）	原初の黄色いダリ
ムラダーラ	ルート（根）	原初の赤いセリ
アジナ	第三の目（眉間）	原初の白いガンマ
スワジスターナ	ハラ（ルートと臍の間）	触媒的な青いカリ
ヴィシュダ	ノド（喉）	色彩の黄色いアルファ
マニピュラ	太陽神経叢（鳩尾）	色彩の赤いリミ
アナハタ	ハート（心臓）	色彩の白いシリオ



プラズマとチャクラのアファメーション

各カードの表にはアファメーション（訳注：肯定的な宣言文）がある。同一のアファメーションが4つのチャージを通して同じプラズマ・タイプをコード化している。毎日、デイリー・プラズマ・カードを取り出して、封印が適切なチャクラにくるように置いて、アファメーションを自らへと宣言する。これによって、放射子はテレパシー的に活性化され、あなたのエーテル体のチャクラ系統すなわち四次元的なホロンへと蓄えられる。28のバリエーションをもつこの7つのプラズマ・タイプが、地球の中心にあるマスター時間分子コードとして、あなたのチャクラ系統をコード化する。それは、あなたのテレパシーの開発、あなたの地球への奉仕、そしてあなたの未来の時間旅行を促進するものである。

このアファメーションは、高名な仏教の行者であり、秘儀のマスターであるパドマサンバヴァからとられたものであるが、7つのプラズマ・タイプそれぞれの特質も付け加えられている。瞑想的なプロセスと集中に関するアファメーションは、ホロンあるいはエーテル体の補強を意図している。パドマサンバヴァとは「蓮華から生まれた者」を意味し、それはカリのカードに関連している。「蓮華生」であるとは純粋な性質であることを意味する。仏陀とは啓発された者あるいは啓発された心を意味するが、それはシリオのカードに出てくる。

量子タイプ：

- 第1週：赤い類似の感覚量子、1～3日
- 第2週：白い反対の感覚量子、8～10日
- 第3週：青い神秘の感覚量子、15～17日
- 第4週：黄色い統一場の感覚量子、22～24日

- 第1週：青い神秘の触媒的なカリ、4日
- 第2週：青い反対の触媒的なカリ、11日
- 第3週：青い類似の触媒的なカリ、18日
- 第4週：青い統一場の触媒的なカリ、25日

- 第1週：赤い類似のテレパシー量子、5～7日
- 第2週：白い反対のテレパシー量子、12～14日
- 第3週：青い神秘のテレパシー量子、19～21日
- 第4週：黄色い統一場のテレパシー量子、26～28日

量子タイプの一覧

感覚量子とテレパシー量子という二つの量子タイプがある。各タイプにも週の色と質によって4つのバリエーションがある。これらの量子は地球的な量子である。地球の経験と地球の時間は人間のそれよりもゆっくりとしている。毎週の量子の実践を通じて、あなたは地球のための体験を重ねる。それぞれの量子を作り上げるのに3日間かかるのはそのためである。そして、触媒的なカリの日には週の時間原子へと変換できるように二つの量子の結びつきを確立するのである。

毎週の最初の3日間の感覚量子は、上向きの三角形として描かれる。カードには3つのプラズマの三角形の頂点との対応が示されている。テレパシー量子は下向きの三角形であり、やはりそれぞれの頂点には3つのプラズマが対応している。感覚量子が上向きなのは、感覚が湧き上がり、上昇するからである。テレパシー量子が下向きなのは、それが上方から入り込むからである。カリは小さな青いひし形で示されるが、それは週の色に関係なく一定のままである。カリのプラズマは、それ以前の3つのプラズマを触媒し、それとテレパシー量子との結束を確立する。

放射子の一覧：

- 第1週：放射子の値 = 260
- 第2週：放射子の値 = 273
= 月の値 13 + 第1週の放射子の値 260 = 273
- 第3週：放射子の値 = 286
= 月の値 13 + 第2週の放射子の値 273 = 286
- 第4週：放射子の値 287
= 月の値 1 + 第3週の放射子の値 286 = 287
- 第4週の神秘の月の放射子の値 288
= 月の値 1 + 第4週の放射子の値 287
= 288、極光の調波

放射子の一覧

放射子は7つのプラズマ・タイプそれぞれによって解き放たれるテレパシー的な潤滑油のタイプに関連する。どれだけ多く月の値の時間旅行クレジットが蓄えられていたとしても、燃料としての放射子なしには、あなたの時間旅行の乗り物はどこへも行けない。放射子の値は週ごとの月の値によって決まるが、その週の7日間は一定のままである。月の値が7日間蓄積されるのに対して、放射子は極光の調波になるまで週ごとに蓄積される。ひと月の間に累積される放射子の値は288であり、それは蓄積される月の

値の時間旅行クレジットである2016の7分の1であり、一単位の燃料につき7回の時間旅行クレジットという比率でもある。時間旅行の乗り物の燃料となるものは放射子である。時間旅行の乗り物が移動することのできるテレパシー的な範囲を決定するのが月の値の時間旅行クレジットである。さらなる情報は、あなたが7:7:7:7の3年間の飛行訓練プログラムを終えたときにもたらされるだろう。現時点では累積される放射子の値が毎月マスター時間分子の中心に蓄えられることを知っていれば十分である。

ひと月28日間は、地球の極光の調波に関する一つの記憶装置に等しい。

塔のカードの一覧

4枚の塔のカードがある。1日、6日、23日と28日のカードの右上隅には塔が描かれている。それぞれの塔の上には銀河の表記法の数字がある。それらはその日のカードをコード化する惑星のキンに関連している。(惑星のインデックス参照。)28日周期に入る塔のカード1は霊の塔の基礎である。

- 1日の塔のカード 銀河の表記法のコード番号7
=手、GK地球、霊の塔の基礎
- 6日の塔のカード 銀河の表記法のコード番号12
=人、SP地球、塔の基礎
- 23日の舵取りの塔のカード 銀河の表記法のコード番号17
=地球、SP天王星、舵取りの塔
- 28日の塔のカード 銀河の表記法のコード番号2
=風、GK天王星、霊の塔

そして塔のカード28の霊の塔は28日周期の完了時点である。それ以外の2枚の塔のカード、6と23は、7日から22日までの間の16日間の立方体の旅を区切るものである。塔のカード6、舵取りの塔の基礎は、あなたに立方体の旅を用意する。一方、塔のカード23、舵取りの塔は、立方体の旅の完了地点であなたを待っている。16日間の立方体の旅は4×4であり、すべての立方体の基礎となる完全な正方形を定義する。立方体の旅についてさらに学ぶためには、「テレクトノン、預言のゲーム」が必要になるだろう。塔のカード1と6が惑星地球に対応するキンによってコード化されているのに対して、塔のカード23と28は天王星に対応するキンによってコード化されていることを覚えておくように。立方体の旅もまたSP地球の6日からGK海王星の7日の時点で惑星の進行に分断を生じる原因となる。GK海王星は、誕生の力をもつキン1赤い竜に対応する。したがって立方体の旅は、地球(6日)を出発し、天国(天王星、23日)に入りこむまでの神秘的な再生の旅を提供するのである。

ウルの地球の一覧

4つの塔のカードに、8、13、18日のカードを加えた7つのウル地球のカードがある。それらのカードをコード化する惑星を調べれば、すべてが地球か天王星であることに気づくだろう。天王星は地球の電磁気的な

- ウル地球1、1日、外的なウル地球(GK地球)第1週ダリ
- ウル地球2、6日、太陽のウル地球(SP地球)第1週リミ
- ウル地球3、8日、月のウル地球(GK天王星)第2週ダリ
- ウル地球4、13日、夜のウル地球(GK地球)第2週リミ
- ウル地球5、18日、昼のウル地球(SP地球)第3週カリ
- ウル地球6、23日、内的なウル地球(SP天王星)第4週セリ
- ウル地球7、28日、天のウル地球(GK天王星)第4週シリオ

双子だとみなされている。第3軌道にある地球と第8軌道にある天王星という二つの惑星軌道の間隔は、完全な第5度となっている。ウル(UR)とは、普遍的な回想(Universal Recollection)あるいは普遍的な悟り(Universal Realization)のことである。それぞれのウル地球は、異なった地

球の側面に対応する。それらの側面の総体が多次元多価の地球のヴィジョンを構築するのである。結局「13の月の暦」の28日周期の目的は、我々人類を地球と共にある状態に戻すことであり、拡張した知識によれば、地球が普遍的な回想のための活動体であることを普遍的に悟るためのものである。

カラーコード

28日の周期は4つのカラーコードに従う。赤(第1週) 白(第2週) 青(第3週) 黄(第4週)である。これと同じ配色が7つのプラズマと10個の惑星をコード化する。それは4次元の調波マトリクスである260日周期をコード化する20キンと同じく、文字通り時間の体験を活気づける。色には、次に掲げるような色同士の一定の関係性がある。

カラーコード：	
類似の色： 赤 - 白、青 - 黄	互いに支えあう
反対の色： 赤 - 青、白 - 黄	挑戦を与える
神秘の色： 赤 - 黄、白 - 青	隠された力

テレパシー時間科学の実践

あなたの28日周期の暦は、放射状に反対にある二つの数字同士の合計が常に29、つまり28 + 1になる放射状マトリクスである。この放射状マトリクスから7つの二重プラズマのチャージを2組が生じる。一日に2枚のカードを調べなさい。それによってあなたが発見することのできた時間の数字の魔術について考えてみなさい。二重のチャージがどのようにして白 - 黄、赤同士、青同士のプラズマのチャージの組み合わせになるのか、また15日に周期がどのように反転するのかについても考えてみなさい。

7つの外的な二重のチャージ ~ 外側の赤と黄色の週

ダリ1日 + シリオ28日 = ダリ - シリオ29、セリ2日 + リミ27日 = セリ - リミ29、ガンマ3日 + アルファ26日 = ガンマ - アルファ29、カリ4日 + カリ25日 = カリ - カリ29、アルファ5日 + ガンマ24日 = アルファ - ガンマ29、リミ6日 + セリ23日 = リミ - セリ29、シリオ7日 + ダリ22日 = シリオ - ダリ29、

外的なチャージの放射子の値 $547 + 1 = 548$

7つの内的な二重のチャージ ~ 内側の青と白い週

ダリ8日 + シリオ21日 = ダリ - シリオ29、セリ9日 + リミ20日 = セリ - リミ29、ガンマ10日 + アルファ19日 = ガンマ - アルファ29、カリ11日 + カリ18日 = カリ - カリ29、アルファ12日 + ガンマ17日 = アルファ - ガンマ29、リミ13日 + セリ16日 = リミ - セリ29、シリオ14日 + ダリ15日 = シリオ - ダリ29

内的なチャージの放射子の値 $559(13 \times 43)$

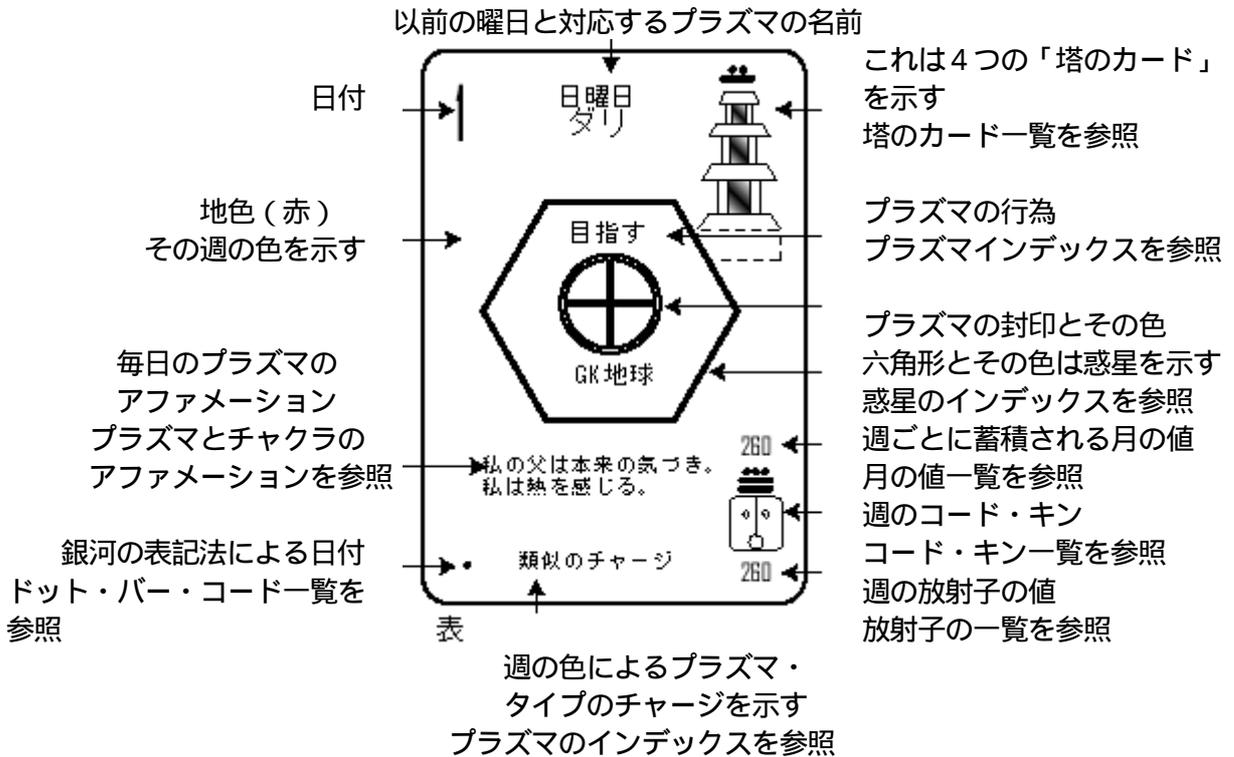
最後の2週間、チャージの反転：ダリ15日 + シリオ14日 = 29、セリ16日 + リミ13日 = 29、・・・

放射子の総計 $29 \times 28 = 812$ または $116(=29 \times 4) \times 7$

おめでとう！いま、あなたは3年間の実践的なテレパシー時間科学飛行訓練プログラムに完全に入り込んだ。このまま継続しよう。時間旅行それ自体は、正しい13の月、28日周期の時間を生きるかどうかの問題なのだ。7:7::7:7は、日々のカウント以上に、あなたが日々遊び、学ばべき時間の科学であり、地球の預言なのだ。

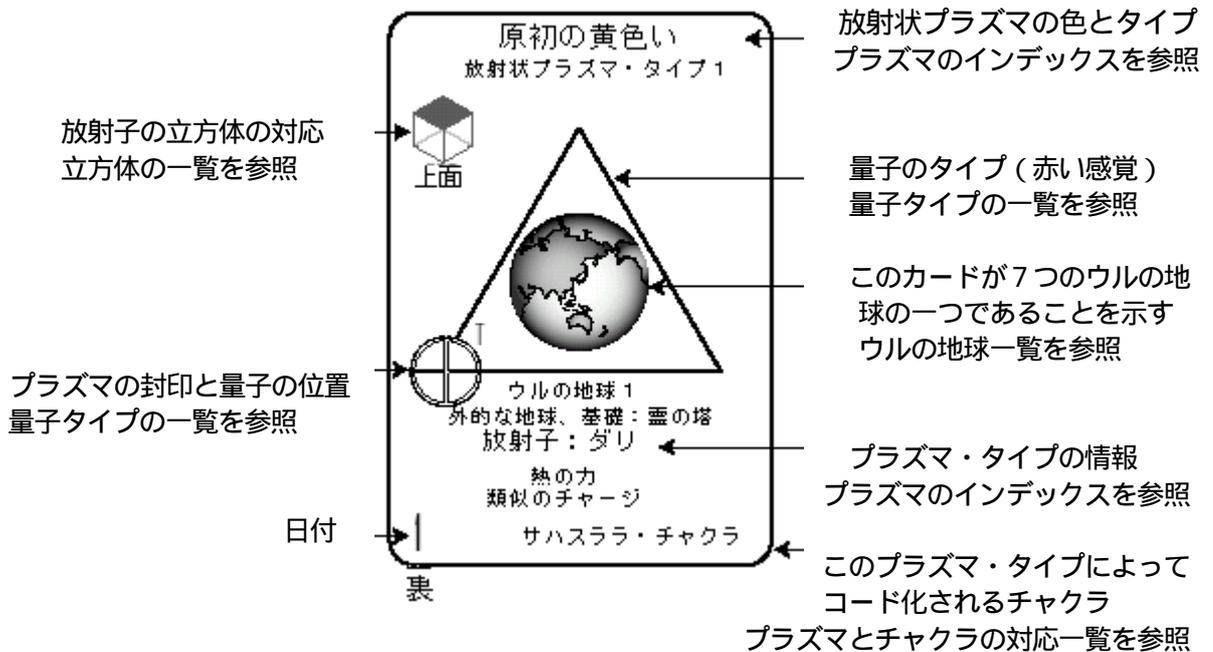
28枚のカード ~ 28枚の記憶装置

あなたが毎日カードを読み、プレイすることをよりやさしくするための情報一覧

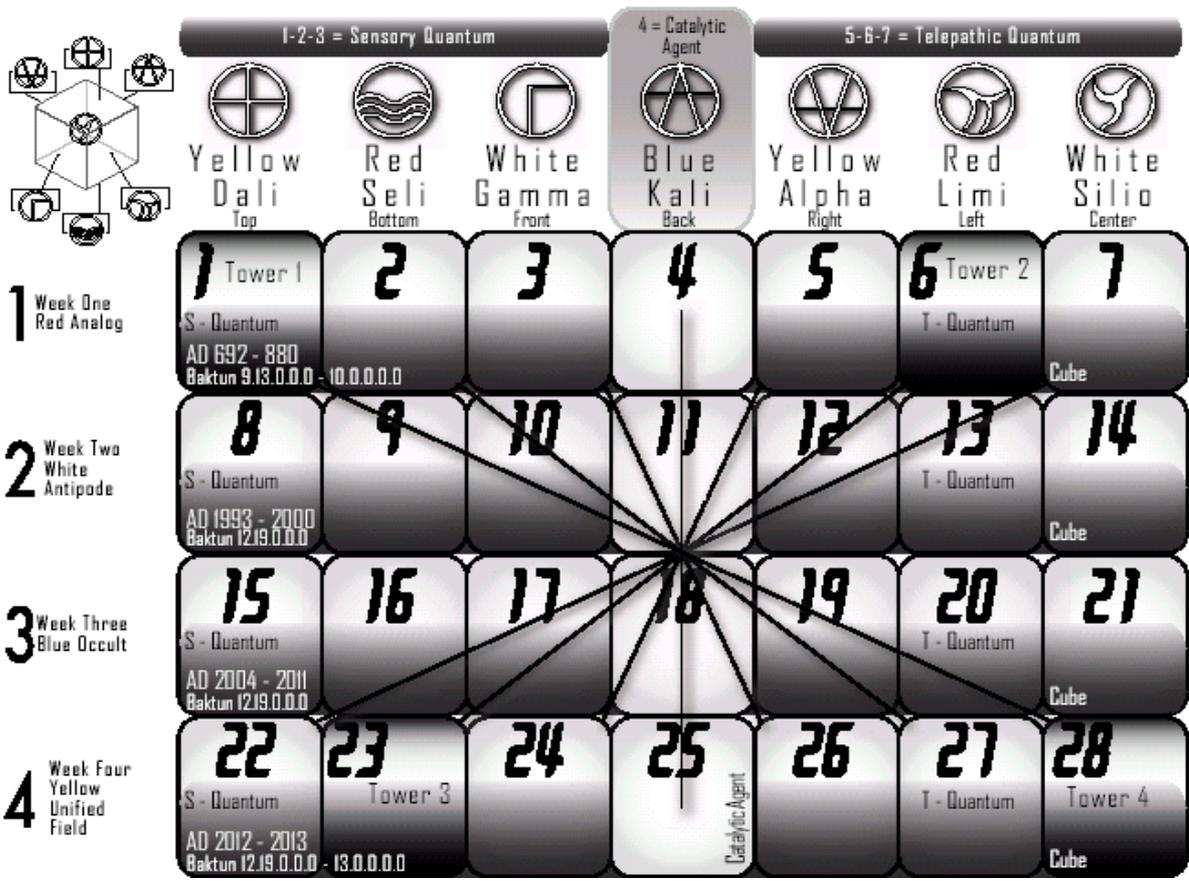


28枚のプラズマカードはみな情報記憶装置である。

プラズマの封印のある側が表、プラズマの量子の情報のある側が裏



28枚のカードを使う 7つの放射状プラズマ・タイプ 4週 28日間のプラズマ



あなたの28日周期の暦は放射状マトリクスだ

7つの外的な二重のチャージ ~赤と黄

- ダリ 1日 + シリオ 28日 = ダリ - シリオ 29
- セリ 2日 + リミ 27日 = セリ - リミ 29
- ガンマ 3日 + アルファ 26日 = ガンマ - アルファ 29
- カリ 4日 + カリ 25日 = カリ - カリ 29
- アルファ 5日 + ガンマ 24日 = アルファ - ガンマ 29
- リミ 6日 + セリ 23日 = リミ - セリ 29
- シリオ 7日 + ダリ 22日 = シリオ - ダリ 29

7つの内的な二重のチャージ ~青と白

- ダリ 8日 + シリオ 21日 = ダリ - シリオ 29
- セリ 9日 + リミ 20日 = セリ - リミ 29
- ガンマ 10日 + アルファ 19日 = ガンマ - アルファ 29
- カリ 11日 + カリ 18日 = カリ - カリ 29
- アルファ 12日 + ガンマ 17日 = アルファ - ガンマ 29
- リミ 13日 + セリ 16日 = リミ - セリ 29
- シリオ 14日 + ダリ 15日 = シリオ - ダリ 29

最後の2週間、チャージの反転:

- ダリ 15日 + シリオ 14日 = 29、
- セリ 16日 + リミ 13日 = 29、...

放射子の総計 29 × 28 = 812 または 116 (= 29 × 4) × 7

28日ごとに創造されるもの:

- 4つの立方体
- 4つの感覚量子
- 4つのテレパシー量子
- 4つの時間原子

1つのマスター時間原子

各プラズマ・タイプがコード化するもの:

- 7つのチャクラのうちの一つ
- 10惑星のGKあるいはSPのうちの一つ
- 4つのチャージ(類似・反対・神秘・統一場)のうちの一つ

放射子の値:

- 第1週 = 260
- 第2週 = 273
- 第3週 = 286
- 第4週 = 287, 288

外的なチャージの放射子の値: 547+1=548

内的なチャージの放射子の値: 599 (13X43)